

常呂川の環境学習会 ニュースレター

2015年

★開催概要

環境学習会を平成27年7月9日(木)に常呂川下流部で開催しました。今回は、北見市立常呂小学校4年生22名が野外授業として参加し、川の安全講習や常呂川にすんでいる生物、水質についての学習をしました。

★学習内容

安全講習

常呂川の環境学習をする前に、川に来る時に準備することや川での危険について学習しました。

水生生物の調査

水生生物調査では班毎に分かれ、講師から水生生物の採取方法や種類の説明をきいて、常呂川の自然環境を学んでいます。

水質の調査

パケットによる簡単な水質調査を実践して、常呂川の水質環境を学んでいます。

魚類の調査

水槽での魚類観察、タモ網での魚類の捕獲、投網の実演見学を行っています。



色をくらべて水質調査
うーん、この色が近いかな？



水生昆虫を探してみよう！

4. 川ではこんなところにも危険がある。



橋脚(きょうきゃく)のまわりは深くなっていることがある。



川を守るブロックがあると、川の中ではよく見えず、つまずいて転んでしまうことがある。すき間に足が入ると抜けなくなってしまうことも。



川にはどんな危険があるのかな？

中に入ると渦(うず)をまいているため、抜けだせない。泡(あわ)がおおいとライフジャケットでも浮きにくい。



アメリカオニアザミ
鋭いとげを持っています。
手袋をしていても、肌にさざります。

各種調査から、常呂川には、たくさんの生物が生息しており、きれいな川だということを体験できました。また、安全講習によって河川での危険を回避する知識を得て、楽しみながら常呂川の環境学習会を終えました。



どんな魚がとれるかな？